

令和7年度事業計画書

[令和7年2月1日より令和8年1月31日まで]

1. 学術講演会、研究会等の開催（定款第5条1項の1）

- ・一般社団法人日本内科学会令和7年定時総会を下記の通り行う。
開催日 令和7年4月18日（金）
会 場 大阪市・大阪国際会議場 参加予定者数 42,300人（委任状含）
- ・第122回日本内科学会講演会を下記の通り行う。
会 長 竹原 徹郎（大阪大学）
会 期 令和7年4月18日（金）～令和7年4月20日（日）
会 場 大阪市・大阪国際会議場・リーガロイヤルホテル（大阪）
参加予定者数 45,000人（Web配信含）
テーマ いのち輝く内科学
会長講演，特別講演，招請講演5題，シンポジウム3題，パネルディスカッション，教育講演18題，一般演題235題，CPC，医学生・研修医・専攻医を対象とした企画，働き方改革・ダイバーシティ公開シンポジウム等
- ・第53回内科学の展望を下記の通り行う。
会 長 安田 聡（東北大学）
開催日 令和7年11月30日（日）
会 場 仙台市・仙台国際センター 参加予定者数 2,500人（Web配信含）
テーマ 未定
- ・支部の事業として行う学術集会（地方会）は，北海道，東北，関東，信越，東海，北陸，近畿，中国，四国および九州の10支部において35回開催する。
参加予定者数 24,000人（Web配信含）

2. 学会誌、学術図書等の発行（定款第5条1項の2）

- ・和文誌「日本内科学会雑誌」を下記の通り発行する。

発行年月日	巻	号	発行部数
令和7年2月10日	114	2	115,700部
2月20日	114	臨時増刊	115,900部
3月10日	114	3	116,800部
4月10日	114	4	118,100部
5月10日	114	5	119,700部
6月10日	114	6	120,300部
7月10日	114	7	120,300部
8月10日	114	8	120,300部
9月10日	114	9	120,300部
10月10日	114	10	120,800部
11月10日	114	11	120,800部
12月10日	114	12	121,000部
令和8年1月10日	115	1	121,300部
- ・英文誌「Internal Medicine」は電子ジャーナルのみの発行（年24回）とし，一般公開する。

3. 研究及び調査の実施（定款第5条1項の3）

- ・内科専門医および総合内科専門医の臨床研修に必要な一定規模と教育環境を有する施設の調査を実施する。

4. 研究の奨励及び研究業績の表彰（定款第5条1項の4）

- ・第38回内科学会奨励賞を表彰する。

永坂 拓也：「舌下免疫療法後に発症した好酸球性食道炎の検討」

彌重 匡輝：「重症大動脈弁狭窄症治療前後における消化管血管異形成に関する検討」

石川 重史：「前糖尿病状態の退職者（前期高齢者）におけるIoT搭載ウェアラブルモニターを使用した運動介入によるHbA1cと行動変容ステージの変化」

武藤 玲子：「腎臓内科医の観点を組み込んだ人工知能による日本人COVID-19患者の重症化予測」

伏屋 愛加：「全身性慢性活動性EBウイルス病成人例の臨床像と予後因子の解明～レジストリデータを用いた後方視的解析～」

横山 立：「Parkinson症候群におけるMIBG心筋シンチグラフィを用いた心臓交感神経機能の検討」

小神 昌寛：「炎症性筋疾患におけるST合剤の有用性」

神辺まどか：「医療系学生におけるHPVワクチン接種率・認知率の現状と課題」

芦澤 信之：「高齢者肺炎における長期予後因子の評価と新規スコアリングモデルの検討」

吉田 裕也：「がん遺伝子パネル検査を施行した原発不明がん35例の後方視的検討」

5. 認定医及び認定施設の認定（定款第5条1項の5）

- ・資格認定試験を下記の通り行う。

第5回 内科専門医 資格認定試験

実施日 令和7年5月25日（日）

会場 横浜、神戸の2地域に試験会場を設ける予定

第53回 総合内科専門医 資格認定試験

実施日 令和7年11月9日（日）

会場 横浜、大阪の2地域に試験会場を設ける予定

- ・内科専門医および総合内科専門医の臨床研修を行う教育施設を調査に基づき認定審査する。

6. 生涯学習活動の推進（定款第5条1項の6）

- ・生涯教育講演会を下記の通り開催する。

2025年度生涯教育講演会Aセッション

会長 野津 司（旭川医科大学）

開催日 令和7年5月25日（日）

会場 旭川市・旭川市大雪クリスタルホール 参加予定者数 3,300人（Web配信含）

2025年度生涯教育講演会Bセッション

会長 熊代 尚記（金沢医科大学）

開催日 令和7年9月14日（日）

会場 金沢市・石川県立音楽堂 参加予定者数 3,300人（Web配信含）

2025年度生涯教育講演会Cセッション

会長 中島 貴子（京都大学）

開催日 令和7年10月26日（日）

会場 京都市・京都テルサ 参加予定者数 3,300人（Web配信含）

- ・各支部生涯教育講演会は10支部において13回開催する。 参加予定者数 7,500人（Web配信含）
- ・セルフトレーニング問題を実施する。 参加予定者数 22,000人
- ・会員の生涯教育のための生涯教育システムの運用
（講演会のオンデマンド配信、セルフトレーニング問題の受講を含む）

7. 救急救命講習会の開催（定款第5条1項の5及び6）

- ・内科医の質の向上のための救急救命講習会を7回、指導者講習会を7回開催する。

8. 関連学術団体との連絡及び協力（定款第5条1項の7）

- ・日本医学会連合，日本専門医機構，内科系学会社会保険連合，日本医療安全調査機構等の活動に積極的に参画する。

9. 国際的な研究協力の推進（定款第5条1項の8）

- ・国際内科学会及び米国内科学会の活動に積極的に参画する。

10. 社会に対する内科学の進歩の普及及び医療への啓発活動（定款第5条1項の9）

- ・禁煙推進学術ネットワークの活動に参画する。
- ・市民公開講座を下記の通り開催する。
 - テーマ 食えることは、生きることそのもの
 - 開催日 令和7年4月20日（日）
 - 会場 大阪市・大阪市中央公会堂

11. 新専門医制度の実施，運用（定款第5条1項の5及び10）

- ・新専門医制度の円滑な実施，運用に注力する。特に内科専攻医の研修履歴及び実績の登録，その評価と専攻医のさらなる育成など専攻医登録評価システム（J-OSLER）を活用し管理・運営を行う。

12. その他目的を達成するために必要な事業（定款第5条1項の10）

- ・広報活動の推進
 - 「内科の日」等において、内科の重要性について広く一般市民や若手医師に向けて広報活動を推進していく。
- ・情報化の検討・推進
 - Webによる情報発信，各種コンテンツの提供，学会業務のシステム化などの情報化を段階的に推進する。
- ・日内会館の管理・運営等